

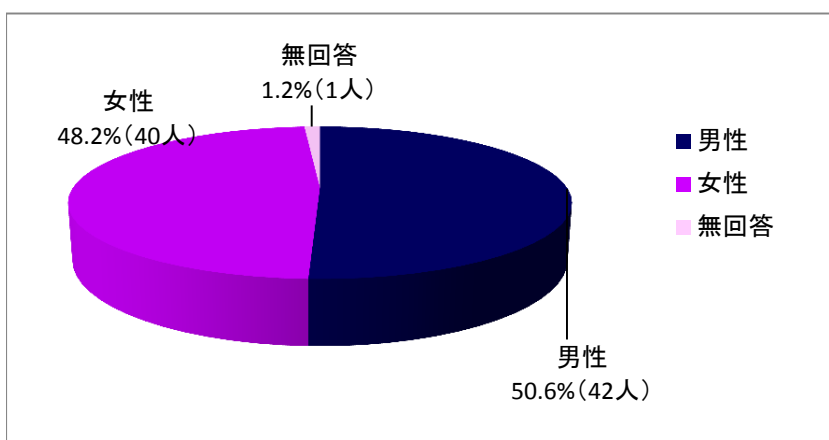
中心市街地循環バス「ぐるる」に関するアンケート調査について(100人会)

- 1 対象者 市民100人会会員(106名)
- 2 調査月 平成27年7月
- 3 調査方法 郵送によるアンケート
- 4 回収率 78.3%(83名)
- 5 調査項目および調査結果(下記のとおり)

問1 あなた自身のことについて、お聞きします。(〇は一つ)

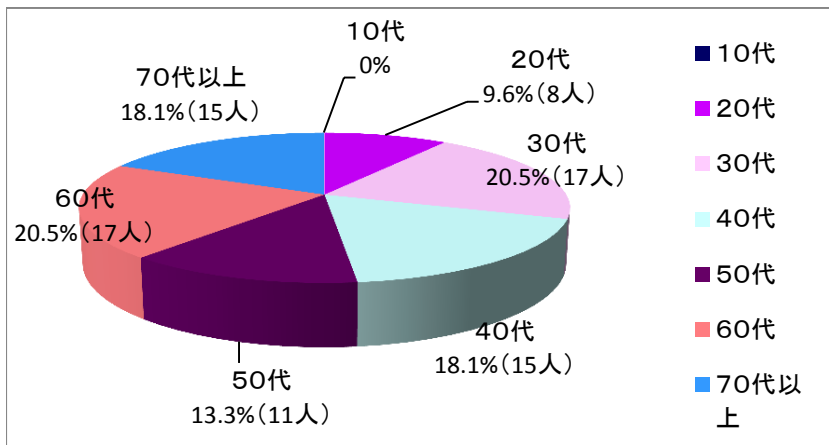
性別

項目	サンプル数	構成比(%)
1. 男性	42	50.6%
2. 女性	40	48.2%
無回答	1	1.2%
合計	83	100.0%



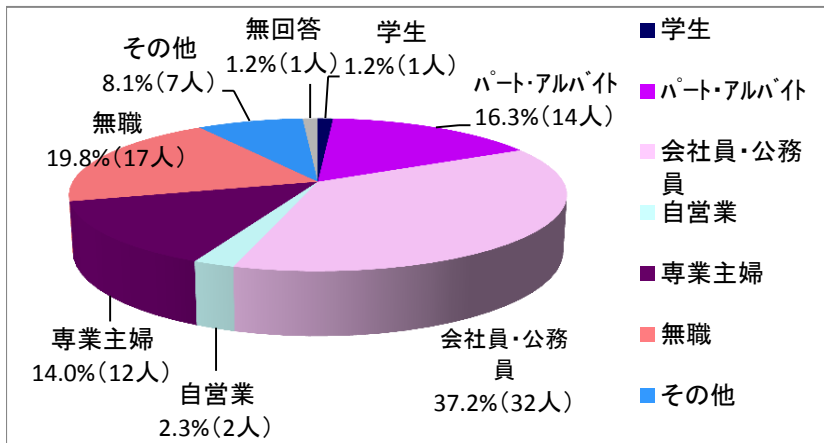
年齢

項目	サンプル数	構成比(%)
1. 10代	0	0.0%
2. 20代	8	9.6%
3. 30代	17	20.5%
4. 40代	15	18.1%
5. 50代	11	13.3%
6. 60代	17	20.5%
7. 70代以上	15	18.1%
無回答	0	0.0%
合計	83	100.0%



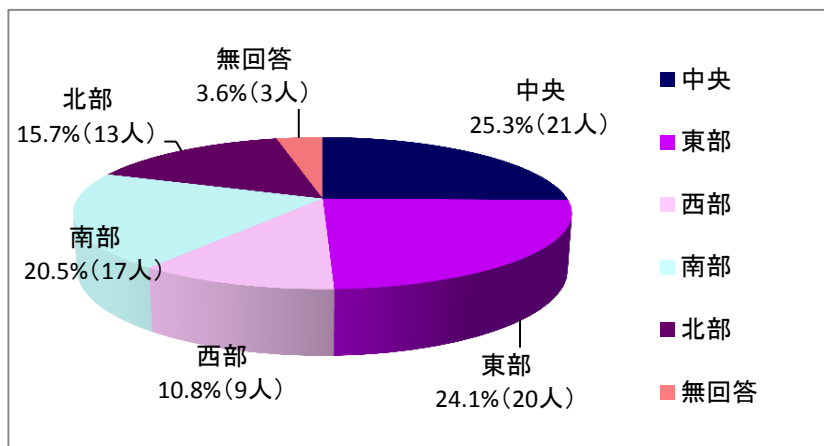
職業

項目	サンプル数	構成比(%)
1. 学生	1	1.2%
2. パート・アルバイト	14	16.3%
3. 会社員・公務員	32	37.2%
4. 自営業	2	2.3%
5. 専業主婦	12	14.0%
6. 無職	17	19.8%
7. その他	7	8.1%
無回答	1	1.2%
合計	86	100.0%



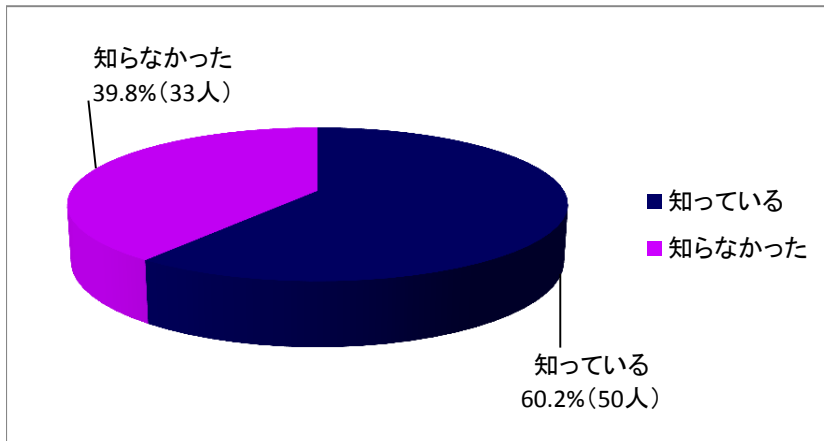
住所

項目	サンプル数	構成比(%)
中央	21	25.3%
東部	20	24.1%
西部	9	10.8%
南部	17	20.5%
北部	13	15.7%
無回答	3	3.6%
合計	83	100.0%



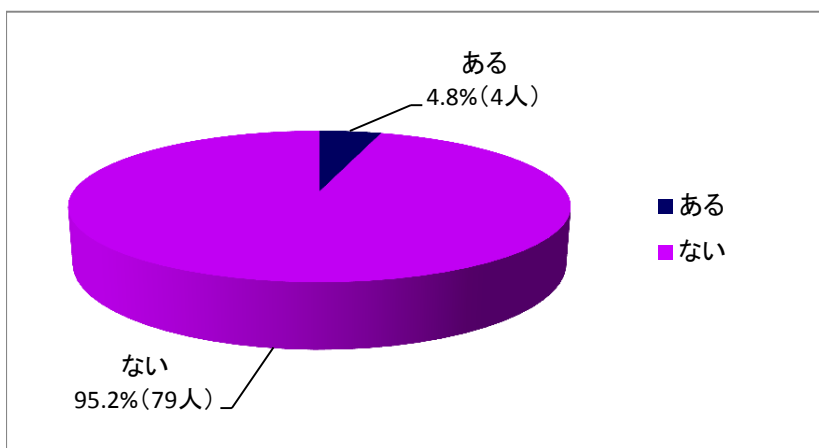
問2 循環バスについてご存じですか。(〇は一つ)

項目	サンプル数	構成比(%)
1. 知っている	50	60.2%
2. 知らなかった	33	39.8%
無回答	0	0.0%
合計	83	100.0%



問3 循環バスを利用したことはありますか。(〇は一つ)

項目	サンプル数	構成比(%)
1. ある	4	4.8%
2. ない	79	95.2%
無回答	0	0.0%
合計	83	100.0%

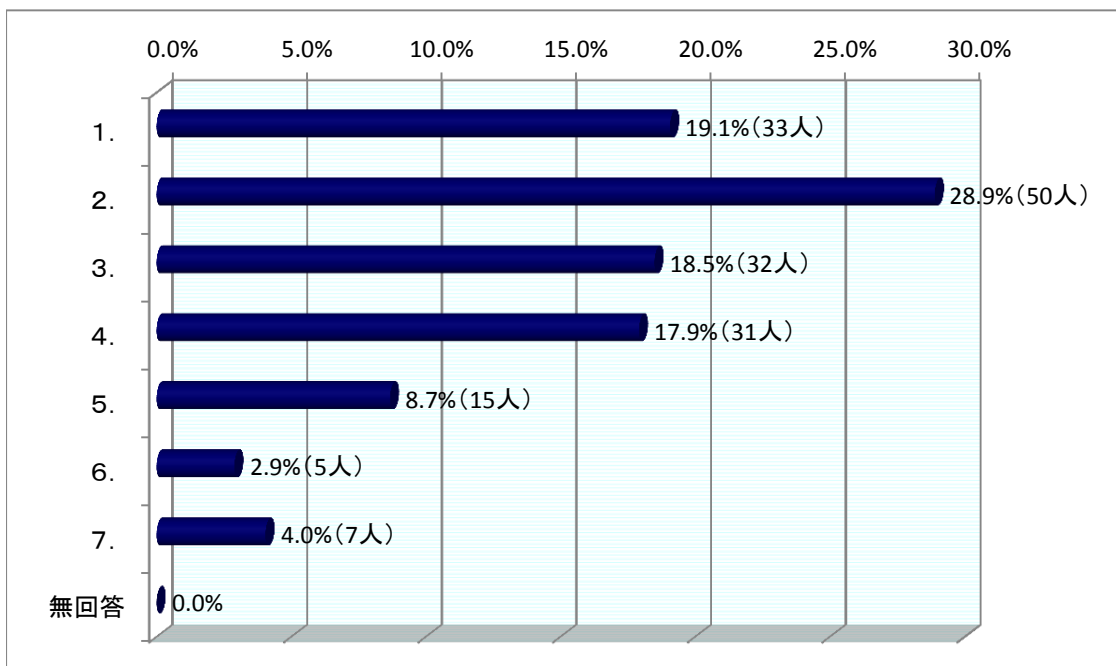


問4 循環バスが中心市街地を運行することで、どのような効果があると思いますか。(〇はいくつでも)

項目	サンプル数	構成比(%)
1. 中心市街地活性化への寄与	33	19.1%
2. 高齢者の外出機会の促進	50	28.9%
3. 中心市街地の回遊性の向上	32	18.5%
4. まちなか観光の促進	31	17.9%
5. 特に効果はない	15	8.7%
6. わからない	5	2.9%
7. その他	7	4.0%
無回答	0	0.0%
合計	173	100.0%

【7. その他回答】

- ・ 中通病院への通院などが便利。
- ・ イベントへ行くための足がわり(近隣の方だけかもしれないが)。
- ・ 利用する方の立場だとよい。自身は車世代なので関心は薄い。
- ・ 県外の客の利便性に貢献(PRは必要)。
- ・ もっと回る範囲が広ければ(駅東広面地区等)乗る人もいるだろうが、あまり効果はないと
- ・ 循環バス付近に住む方への寄与。
- ・ 現状のルートや方式ではあまり効果はないと思う。
可能性はあると思うのでいま廃止でなく改善してほしい。

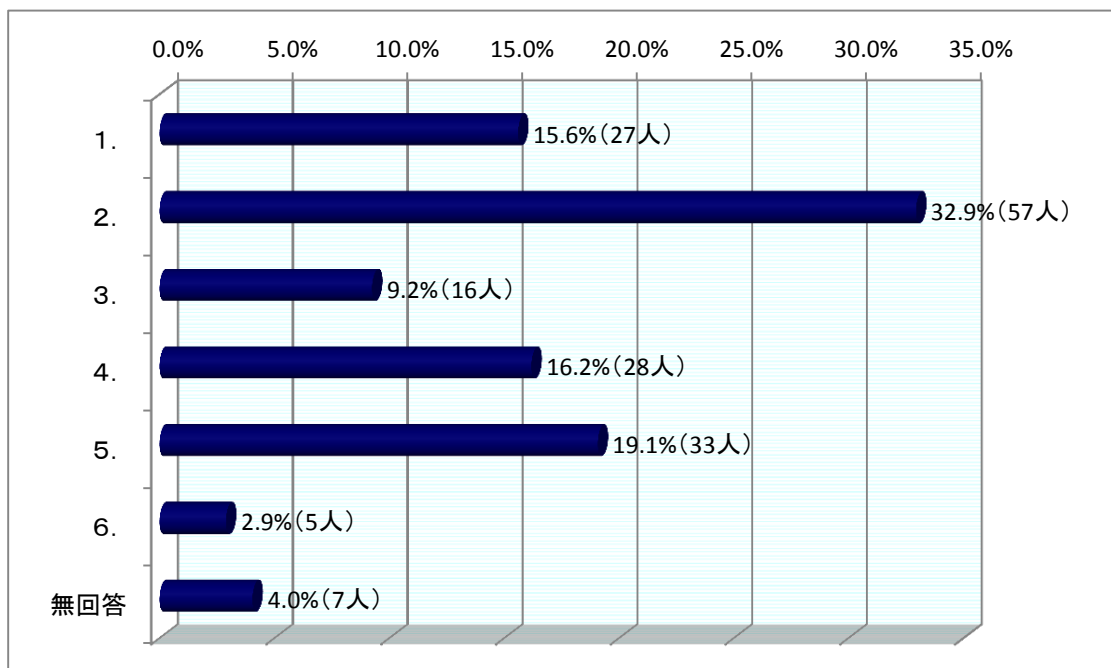


問5 循環バスの利点はなんだと思いますか。(〇はいくつでも)

項目	サンプル数	構成比(%)
1. 主要スポットを巡回している	27	15.6%
2. 運賃がワンコインで支払いがしやすい	57	32.9%
3. 運行ルートがわかりやすい	16	9.2%
4. 運行間隔が比較的短い	28	16.2%
5. まちなか観光に便利である	33	19.1%
6. その他	5	2.9%
無回答	7	4.0%
合計	173	100.0%

【6. その他回答】

- ・ 安い。
- ・ 利点なし。
- ・ 独歩移動の高齢者等にとっては、駅前での買物、金融機関への運行はありがたいことと思われる。
- ・ あまり考えられない。

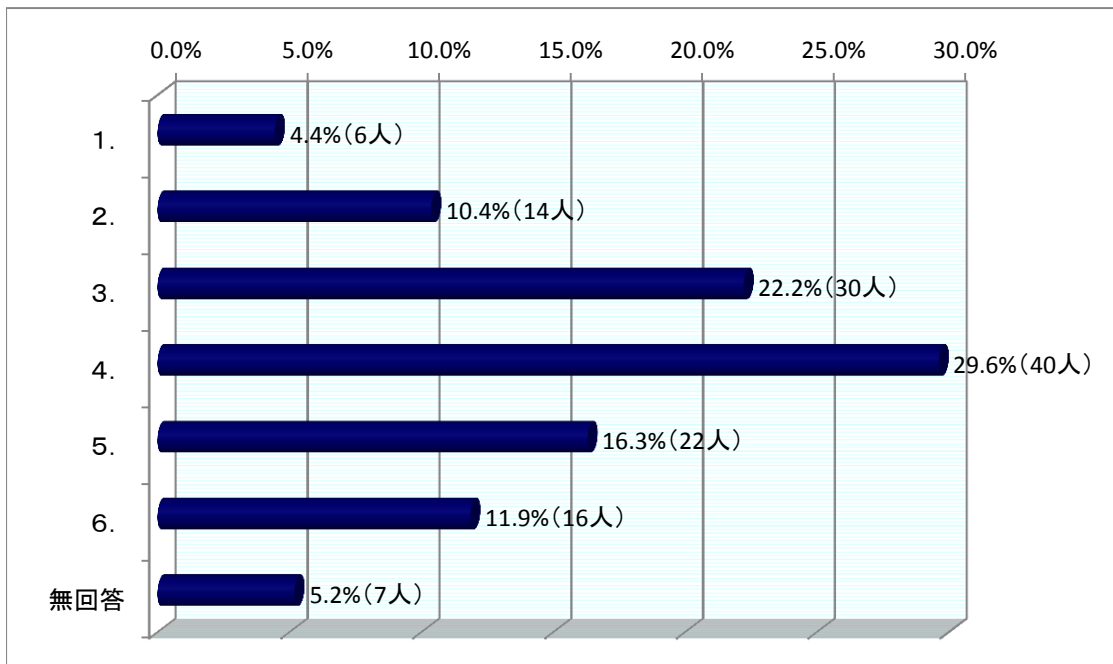


問6 今後の循環バスに求めるものはなんですか。(〇はいくつでも)

項目	サンプル数	構成比(%)
1. 特になし、現行どおりで満足	6	4.4%
2. 車内BGMや観光案内の充実	14	10.4%
3. 買い回りしやすい循環コースの新設	30	22.2%
4. 現ルートのほかに市内観光ルートの新設	40	29.6%
5. レトロな外装など、もっと乗ってみたいと思える車両への変更	22	16.3%
6. その他	16	11.9%
無回答	7	5.2%
合計	135	100.0%

【6. その他回答】

- ・ 運行時間帯。
- ・ 廃止。
- ・ 運行ルートの増設(保戸野、泉方面回遊できるルート)または路線バスとの連携。
- ・ 市民へのアピール。
- ・ 買物と観光の両者がいっしょに利用できるようなルートを広げる。石川県加賀温泉郷の「CANバス」が参考になると思う。
- ・ バス停表示の分かりやすさ。
- ・ 誰に乗ってほしいのか、対象者をしぼる。地元の人と観光客の両方が対象であれば、ルート等の見直し。
- ・ 大町、山王の飲み屋まで運行してほしい。
- ・ 金曜、土曜は大町～川尻ルートを電車の時間に合わせて運行してほしい。22:00ころまで
- ・ 17時頃までの運行を望む。
- ・ 必要ない。駐車場や駐車券の補助対策などへふり向けた方がよい。
- ・ 利用者を増やす事で言えば居住区域泉、山王、川尻方面をまわって住民に利用してもらってはどうか。秋田は車の移動がほとんどでルート近くまで車で行くのではバス利用はないと思う。歩ける移動距離であるため。
- ・ 本数を増やす。運行ルートを増やす。
- ・ 市内の官公庁施設、病院、運動施設等の経由。
- ・ 1日券300円はあるが、観光客は無料にするなどのカード発行など。



問7 循環バスは、運行経費から運賃収入を差し引いた金額(約640万円)を市が負担して運行していますが、今後の運行についてどう思われますか。(〇は一つ)

項目	サンプル数	構成比(%)
1. 中心市街地のにぎわい創出には必要な移動手段であり、市の負担はあっても今後も続けるべき	33	38.4%
2. 中心市街地のにぎわい創出には必要な移動手段であり、周辺部の便益を受ける事業者等の負担で運営するべき	14	16.3%
3. 採算に見合う料金体系にして運行を続けるべき	8	9.3%
4. 中心市街地のにぎわい創出には必要な手段であるが、市費を負担してまで運行する必要はない	6	7.0%
5. 循環バスそのもののメリットが感じられず、利用者も少ないので廃止すべき	13	15.1%
6. わからない	6	7.0%
無回答	6	7.0%
合計	86	100.0%

